

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年5月19日（木）現在

【 野 菜 】

<きゅうり>

相場を弱めたことで末端からの注文は増加が見込まれるが、東北産促成作の出荷がピークとなることから、今後の相場は弱保合となる見通し。

@A 1,500円～

<いちご>

九州産はじめ、各産地とも出荷終盤となっており、全体数量は多くないものの、品質難も散見されることから、引き合いは落ち着いており、相場は保合で展開している。

@2L、L 250円～

<えんどう類>

○さやえんどう、スナップえんどう

さやえんどうは、福島県産露地作と関東近在産の出荷ピークに備えるため、量販店での売り込みを強める販売となり、相場を弱める見通し。

スナップえんどうは、福島県産露地作の出荷ピークに向け、日々増量となる見込みから、量販店での売り場を再度広げるため、相場を弱める見通し。

ハウスさやえんどう @A 1,400円～ 露地さやえんどう @A 2,700円～

ハウススナップえんどう @A 1,400円～ 露地スナップえんどう @A 2,800円～

<アスパラガス>

東北各産地と九州産の夏芽が出荷開始されることにより、全体量は増える見込みから末端の荷動きを促す販売となるため相場を弱める見通し。

@AL 160円～